

巻末資料(用語集)

初出	用語	解説
P36	汚水処理人口普及率	各自治体の総人口に対する下水道及び集落排水施設を利用できる区域内の定住人口と、合併処理浄化槽の利用人口の合計値の割合。
P39	学・社・民	「学」は学校、「社」は公民館や図書館などの社会教育施設、「民」は地域住民、家庭、地域の団体や企業のこと。
P16	ガストロノミーツーリズム	その土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史などによって育まれた食を楽しみ、その土地の食文化に触れることを目的としたツーリズムのこと。
P36	合併処理浄化槽	家庭や事業場などに個別に設置される汚水処理施設。トイレ、洗面所、台所、洗濯、風呂などから排出される全ての汚水を処理することができ、下水道と同等の処理能力がある。
P6	関係人口	地域内にルーツのある者や過去の勤務・滞在等の何らかの関わりがある者など、地域と多様に関わる人々のこと。移住した人を含みその地域に住んでいる「定住人口」、観光目的やビジネス目的などでその地域を訪れる「交流人口」とは異なる。
P44	共生社会	誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会のこと。
P1	区自治協議会	市民自治の推進を図るために、区民等と市をつなぐ「協働の要」として平成19(2007)年度に各区に設置された市長の附属機関のこと。
P12	交通結節点	バスのほか、電車やタクシー、自動車、自転車など様々な交通手段の接続が行われる乗り換え拠点のこと。
P16	交流人口	観光目的やビジネス目的などでその地域を訪れる人々のこと。
P11	国家戦略特区	特定の地域や分野を限定して規制緩和や税制上の優遇措置を行うことで、企業の投資や人材を呼び込み、地域経済の活性化を目指すために国が指定する区域のこと。
P22	キラークンテンツ	特定の分野を普及させるきっかけとなるような、圧倒的な魅力を持った情報やサービス、製品ののこと。
P45	重層的支援	複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援のこと。
P15	食と花の銘産品	新潟市が指定する、自信を持って全国に誇る自慢の農畜水産物のこと。
P6	地域コミュニティ協議会	市民と市が協働して、地域のまちづくりやその他の諸課題に取り組み市民自治の推進を図るため、おおむね小学校区を基本単位として、自治会・町内会を中心に様々な団体等で構成された組織のこと。
P45	地域包括ケアシステム	医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が連携しながら、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、地域全体で高齢者を支える仕組み。
P15	マルシェ	フランス語で「市場」を表す。
P5	6次産業化	農林漁業者(1次産業従事者)が原材料供給者としてだけでなく、「地域資源」(農林水産物、バイオマス、自然エネルギーなど)を有効活用し、加工(2次産業)、流通(3次産業)に取り組み経営の多角化を進め、農山漁村の雇用確保や所得の向上を目指すこと。
P34	ワーケーション	Work(仕事)とVacation(休暇)を組み合わせた造語。テレワークなどを活用し、普段の職場や自宅とは異なる場所で仕事をしつつ、自分の時間を過ごすこと。余暇主体と仕事主体の2つのパターンがある。